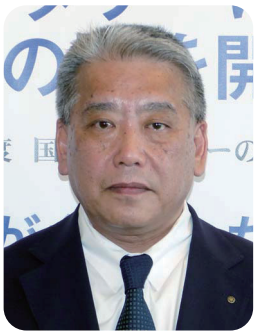


地区スローガン：「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」

クラブ方針：「扉を開こう!そして一歩踏み出そう!! <<Open the door! And take a step>>」

国際ロータリー第2790地区 第3グループ 千葉西ロータリークラブ Rotary Club of Chiba-West WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日
会長 藤崎泰裕 幹事 木村龍次
例会場 千葉スカイウィンドウズ 東天紅 センシティブタワー23階
TEL 043-238-5555
例会日 毎週火曜日 12:30～
事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階
TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522
E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp
URL : <http://www.chibawest-rc.net/>



■ 会長挨拶 / 藤崎泰裕 会長

緊急事態宣言が延長された中ですが、Web 会議ツールによるオンラインでインターシティ・ミーティングが開催されました。千葉西ロータリークラブは振替例会として、参加いたしました。緊急事態宣言中、例会を取り止めているクラブが多いため、参加者が少なかったように思えます。

しかし、内容は素晴らしいものでした。ロータリーが長年取り組んできた「ポリオ根絶推進活動」を具体的に講演され、ポリオの怖さや子供たちへの影響が手に取るようにわかりました。

今我々が新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組んでいることも同じだと思います。罹患させてしまったらどうしよう?、罹患してしまったら?、ポリオウイルスも、新型コロナウイルスも、人類の課題です。私たちの子や孫が元気に過ごせる世界を作るのが、ロータリークラブの役目だと思います。

さて、千葉西ロータリークラブでは、3月より例会再開に向けて、明日模擬オンライン例会を開催いたします。Web 会議ツールに不安のある会員、まだ Web 会議ツールを利用していない会員は、ぜひ参加してみてください。

今ロータリーは変革の時です。今後 Web 会議ツールが併用されることは間違いありませんので、扉を開いて一歩を踏み出してみてください。千葉西ロータリークラブの皆さんと再会できます。トラブルは付き物です。いろいろなセミナー等にも参加させていただきましたが、私も何回かトラブルを経験しています。

千葉西ロータリークラブとして、初のオンライン例会を経験してみてください。まずは明日の模擬オンライン例会から、お待ち申し上げております。

■ インターシティ・ミーティング

会場 三井ガーデンホテル千葉

14:00 開会

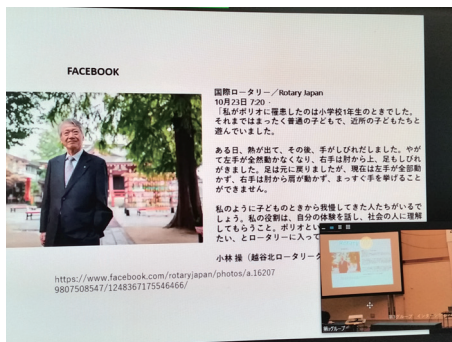
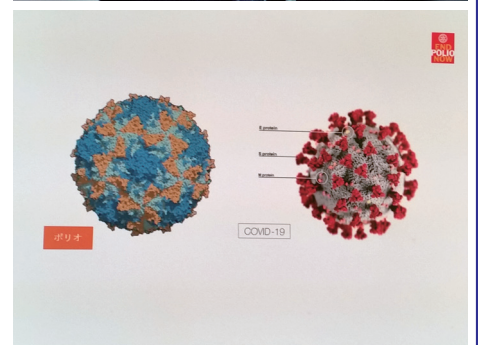
講演 第2770地区

パストガバナー 小林 操 様

(越谷北ロータリークラブ)

演題 「ポリオから学んだこと」

15:30 閉会



■ 国際ロータリー第 2770 地区バスターガバナー 小林 操 氏 (2019-20 年度) 越谷北ロータリークラブ 「ポリオから学んだこと」

ポリオに罹患して

ロータリー生活の中、自分自身がポリオ（小児まひ）サバイバーであり、いつかは自分の思いを行動に移せれば、と思ってきた私にとって、地区のリーダーになって、いよいよその機会をいただけたことは本当にありがたいことです。

ロータリーは、世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）を中心に、三〇余年にわたってポリオ根絶活動を行ってきました。その実績は、世界で数十万件だった野生株の症例数が今では 2 桁に減り、しかもポリオ常在国が世界で 2 カ国になるところまでできたことに示されています。長引く根絶活動から、ロータリアンの中には「根絶は無理」「他にプログラムがある」といった意見もありましたが、世界への約束は必ず守る、という信念の下、私たちは粘り強く活動を続けています。

ポリオは、今では紛争地域に残る感染症という感覚ですが、ワクチン投与が広まる以前は、日本でも多くの人々が感染していました。まず安価な経口ワクチンを広めることによって野生株ウイルスを根絶し、不活化ワクチンに移行するのが世界の流れです。日本では既に不活化ワクチンによる予防が行われています。

私が罹患した 1955（昭和 30）年当時、実家は東京都世田谷でしたが、まだ井戸水を飲んでいました。後から考えると、井戸水から感染したのは確かなようです。家の周りでは既に水道が普及していましたが、井戸水で不自由がなかったのが、ポリオ感染の原因となってしまったのです。

ポリオに罹患すると、普通の夏風邪のような症状の後、突然、しびれや痛みが発生し、手足にまひを残すのが特徴です。当時、同じ病院には鉄の肺（人工呼吸装置）も置かれていて、亡くなった方もいたようです。

今日のようにポリオの症状が認知されていなかった当時、また現在においても、紛争地域などで子どもがポリオに罹患した親の嘆き、不安、失望は想像に絶するものがあります。私の母も同じ思いだったようです。

子を罹患させてしまった母の苦しみ

以下は、母が残した手記（小林絹子著『強く明るく生きよ —— わが子に寄せる愛の手記 ——』）からの抜粋です。

7 月 21 日、前日よりやや回復したようなので、操にとって初めての終業式を欠席したため、近所にある受持の E 先生のお宅に共にあいさつに行きました。

子どもたちが待ちかねた夏休みに入り、毎日ギラギラ照る日差し、連日のように 30 度を超す暑さに、早く海へ連れてってとせびりだします。一時の心配もやっと薄らぎ、初めて暑さに気がついた 22 日の夕方、庭でセミ取りをしていた操が「おかあちゃん、ここがチリチリするんだよ」といいながら、差し出す左手の甲を見てもなんの変わりもないので「なんでもないわよ」と大して気に留めなかったうかつさ。

翌朝またまた 9 度 6 分と発熱。夕方水を求めるのでコップを持たせようとすると、左手が動かないという。おもわず主人と顔を見合わせても、まさか恐ろしい「小児マヒ」とは夢にも考えません。医師も口に出してはいわず、日ごろ医学の本を見ては参考にしていただいていた私も、後になってその本を見てなんとその経過の似ていることか。どうして早く気がつかなかったのかと医師をうらみ、自分を責め、すべてをうらんでとりみだしました。マヒのくる前に、吐き気があり、鼻血を何回となく出し、下痢もし、そしてマヒがきてからは左肩関節が痛いといって夜中泣き続けたのに、ただおろおろとしてさすだけしか私にはできませんでした。

医師から「小児マヒだったらあきらめてください」と無情にも宣告された時の驚き。暑さのためばかりでなく、なんとなくだった私の体が、カーッとこのぼせて思わず冷たい医師の顔をにらみ、大声で叫びたくなっているのに口がきけず、胸ばかり苦しくなって倒れてしまいました。なんと弱い母だったのでしょうか。それから 3 日も痛がる操の腕をさすりさすり一緒に熱を出して寝てしまったのでした。

根絶への思いを、ロータリー活動に

私自身と母の経験を踏まえ、根絶に向ける思いを具体的にロータリー活動で表すため、第 2770 地区では、全 74 クラブが 10 月 24 日の世界ポリオデーでイベントを開催し、世界と地域社会にポリオ根絶をアピールします。このインパクトは SNS（会員制交流サイト）、メディアを通じ拡散できることは確かです。地域社会の皆さんがポリオを理解し、根絶が実現すれば、天然痘以来 2 例目の感染症の根絶となります。

皆さんにもう一度ポリオについて考え、理解して、最後の最後、根絶を達成する意義について考えていただきたいと思います。

人類が一步一步困難を乗り越え、将来、あらゆる感染症に打ち勝つ時が来ることを、心から願っています。

小林 操 氏 プロフィール 1948 年 11 月 5 日生まれ

職 業：税理士 小林操税理士事務所所長 88 年に越谷北ロータリークラブ入会
小学生だった 1955 年、ポリオに罹患



ニコニコ BOX

・なし

千葉西ロータリークラブ	総 数	本日の出欠席	出 席	前々回の修正	メーキャップ	本日の出席率	ニコニコBOX	本日の合計	次週プログラム
	49 名		49 名		0 名	100.00 %		0 円	
	対 象 者		欠 席		欠 席	前々回の出席率		本年度累計	
	43 名		0 名		0 名	0.00 %		640,000 円	
■ 明日模擬オンライン例会 2月16日(火) 12:30点鐘 (12:00より参加できます) ■ 次回プログラム 3月2日(火) オンライン例会 12:30点鐘									
クラブ広報・ロータリー情報委員会 【委員長】北村悠介 【副委員長】海寶勘一 【委員】嶋田 悠 *前田善弘 *桜井隆宏 *高橋健一郎 *中村武弘									

※ 出席率には RI 理事会にて決定された内容が含まれておりません